

木通 信

Komorebi Tsushin

第36号

平成21年4月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
つきだて交流館もり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://www.odehime.or.jp/hanakobo/>

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
36ページ

スイセン

うぐいすは春告鳥

ホーホケキヨの声を合図に

野にも里にも

果樹畑にも

光あふれる春がやってきました

さあ、でかきましょう

花開くふるさとへ



ラッパスイセン

花ことば「神秘」

毎年、眠りから覚めて早春の庭に顔を出すクロッカス、チューリップ、スイセンの芽を見つけると、その生命力に感心しながら春の訪れを実感します。中でも「雪中花」の異名を持つスイセンは、清楚な花とその甘くほのかな香りが、ふるさとの春を優しく演出、植物からの癒しに心安らぎ、始まりの春に元気をいただく一瞬です。スイセンはヒガンバナ科の多年草。地中海沿岸原産で、古くはシルクロードを渡り、日本には中国を経て渡来したといわれています。



気が付くと芽が…自然のリズムを感じる瞬間

学名のナルキッソスは、ギリシヤ神話に登場する美少年の名前です。ナルキッソスは、水面に映る我が身に恋をして離れることが出来なくなり、そのまま命を落としてしまいます。その泉のほとりに咲いた一輪の花がスイセン。語源には、悲しい逸話が残されています。一方、イタリア名のタゼツタは、「小さなコーヒー茶碗」の意味で、こちらは愛らしいスイセンの花が目に見えなくてほのぼのとします。

絵本作家のターシャ・テューダーさんが、憧れのバーモンドに移り

住んで最初にしたことは、千個以上のラッパスイセンの球根を植えたことだそう。異国の庭に咲くその姿を想像しただけでもわくわくしてきました。

旧暦のはなし

3月29日「さと」では桃の節句を迎えました。桃の節句はとくに過ぎたのでは…? ここで言っているのは旧暦の話。このあたりではまだまだ旧暦が活躍しています。

桃の花の咲くのも、ちまきに使う笹の葉が茂るのも、七夕の空に星が輝くのも、菊の花が盛りになるのも、全て旧暦に沿った時期。「季節を先取り」というのは商売上のキーワードでも、あまりにかけ離れた季節感はいただけません。暦がカレンダーとなり、単に日々を計る物差しになってしまった現在、季節と暦がますます乖離(かいり)しているようです。

旧暦では暦と季節が密着しています。1月から3月までが春、4月から6月までが夏…と、3ヶ月ごとに季節が移っていきます。言い換えれば、旧暦は季節を計る物差しでした。但し、3ヶ月というのは正確ではありません。実際には4ヶ月となることもあり、1年が13ヶ月!?! そんな年もあるんですね。そして…続きはまた次号で。



さあ動き出す!! 『ふるさとの春』

里では田植えの準備が始まりました。
 フラビ、タラの芽、ごごみ、タケノコ
 大地の恵みが食卓に春を運びます。
 うれしい春の香りを さあ、いただきます!

今年の10月1日で100歳の誕生日を迎える、母トメノさんを囲んで、恒例となった兄弟会が今年も行なわれました。健康の秘訣は? と同うと「何でも好き嫌いなく食べる、そして、歩くこと」だそうです。家族の愛情に包まれて、益々お元気でありますように。



高木家兄弟会様(伊達市月館町)



ふくしまマスターズ8期生会様(福島市)

心豊かな生きがいがづくりをテーマに交流されている「ふくしまマスターズ8期生会」のみなさまが、つきだて花工房に集い懇親を深められました。息のあった全員コーラスが見事で、当日まで熱心に段取りをされていた幹事さんの顔が、ふと浮かんできました。

それぞれの時代

毎年欠かさことなく同級会を開催され、旧交を温めてこられた「園友会」の皆様。今回は、創立40周年を記念して記念誌『園友』を発行されました。還暦を迎えられた皆様は、お互いに仲間の絆を高め励まし、これからのますますの活躍を誓い合っていました。



園友会様<福島農蚕高校(現 福島明成高校)園芸科昭和41年度卒業生様>

知事が県民の方々と直接に対話し、意見や要望を聞く移動知事室「知事と語ろう『さわやかトーク』」が行われました。環境問題への対応をテーマに、県北地区のNPOなど各分野で活躍されている6名の方々が出席し、佐藤知事と意見を交わされました。



移動知事室「知事と語ろう『さわやかトーク』」様

今年の卒業生は10名。講師のやさしいアドバイスを素直なまなざしで聞き、それぞれの思いを言葉にして銅版に刻みました。体験後は恩師やご両親と食事をしながら、思い出話に花を咲かせていた6年生のみなさん。いつまでも、今の素直な気持ちを忘れないでください。



小手小6年生と父兄のみなさま(伊達市月館町)

思い出を胸に



掛田スポ少バレーボール部様(伊達市霊山町)

2人の卒業生を送る会も兼ねて、一年間を振り返りながらの楽しい昼食会。チーム一丸となって練習に励んだ思い出を胸に刻み、卒業される6年生は、夢あふれる中学生生活を、また、在学されるみなさんは、Vサインのような元気なスポ少活動に励んでください。

ご案内

●宿泊…1泊2食6,500円～(一部屋にお入りになる人数によって料金が変わります) チェックイン16時・アウト10時●日帰り入浴(ハーブのお風呂)…10時から18時(大人300円、小学生150円)●ランチ…11時30分～13時30分●喫茶…10時～18時●交流館もりもり…9時～17時(田舎体験、地産品の直売) ※4・5・6月の休館日:4月7日(火)、21日(火)、5月12日(火)、19日(火)、6月2日(火)、16日(火)

梅見月会席

旬の食材と地元の食材にこだわり、心からのおもてなしをテーマにお客さまをお迎えいたしました。

2月18日、19日、20日の3日間にお越しいただいた93名のみなさまは、ひと品ひと品に興味を持ちながら、にこやかに箸をすすめておられました。

今回はスタッフ手作りの竹箸と箸置きをご準備。エコのご提案も込めて「マイはし」としてお持ち帰りいただきました。



季節の一品

筍と菜の花をつかった春の和え物



【材料】4人分

- ◆菜の花…1束
- ◆ゆで筍…150g
- ◆昆布…適量
- ◆調味料A
水…60cc
濃い口しょうゆ…20cc
みりん…10cc
ほんだし…少々

【作り方】

1. 昆布を水でもどす。
2. 菜の花を少し固めに塩ゆでし、冷水でさらし、水気を切る。
3. 筍は3～4cmの短冊に切る。
4. 1.の昆布の水気をとり、2.の菜の花、3.の筍を昆布締めにし、一晩置く。
5. Aの調味料を混ぜ合わせ、4.の筍、菜の花をあえ器に盛る。

筍のゆで方

- ①穂先を斜めに少しだけ切り落とし、縦に一本切れ目を入れる。
- ②鍋に筍がかかるくらいの水をはり、ぬかをひとつかみ(ぬかがない時は米のとぎ汁)と、赤とうがらしを1、2本入れて、根本に竹串が通るまで茹でる。
- ③自然に冷まし、冷めたら水洗いをして皮をむき使用する。

『畑から始める味噌作り』

『畑から始めるうどん作り』参加者募集！

種まきから始めて、化学肥料や農薬を使わずに育てた大豆や小麦で、味噌やうどんといった地域に伝わる食材作りに挑戦する会員制の体験プログラムです。里山に囲まれた畑で、野良仕事を体験してみませんか？

『畑から始める味噌作り』種まきから味噌仕込みまで年4回のコースで年会費6,200円(4kgの味噌を仕込みます)

『畑から始めるうどん作り』刈り取りから秋の種まき、うどん打ちまで年4回のコースで年会費5,500円(1kgの小麦粉をお持ち帰り)

※詳しい内容はつきだて交流館もりもりへ(TEL024-571-1777)

身近な樹木 ウオッチング

ホウノキ(朴) モクレン科の落葉高木。大きく厚みのある葉は、食べ物を包んだり、味噌などを載せて焼いたりするのに使われる。一度試してみたい。5～6月に咲く花は日本最大で、とてもいい香り。

花工房BGM

～「日本フィルできく美しい日本のうた」より～

●花(滝廉太郎) ●早春賦(中田章) ●花の街(団伊久麿) ●朧月夜(岡野貞一) ●この道(山田耕祥)

Kenちゃんが歩いた Furusato no komichi

連載
17回目

春は山開きのシーズン。このあたりの里山も、毎週のように山開きのイベントが行われます。



月館を代表する里山といえば、絹織物を伝えたといわれる小手姫様が祀られる女神山ですが、今回は子育て信仰の山「御幸山(ごこうぜん)」に登ってみましょう。

御幸山は月館の御代田地区に位置

します。麓に祀られる羽山神社から上り始め、登りがきつくなり始めるころ、大鳥居が迎えてくれます。この大鳥居のすぐそばには大きな桜の木。根が道路に沿って長く伸びているのが見事。

登山道に沿って植えられた桜の木を眺めながら上ると、山頂近くに観音堂が。この観音堂の周りには大わらじの祀られた足尾神社や、水芭蕉の自生地があり、カタクリの花も咲きます。また、石盤に彫られた観音像がいくつも。残念ながら、そのほとんどが割られた状態です。

さて、観音堂を過ぎて、太古の火山活動のあとを示すゴツゴツした岩や赤レンガのような色の土を踏んで更に登ります。羽山神社の奥の院を過ぎると、もうすぐそこは御幸山の頂上。天気によければ、福島の町が一望に、そしてその向こうには吾妻連峰を望むことができます。



料理の豆知識
Vol.02
筍(たけのこ)
筍は、竹類の地下茎から出た芽が育つたもので、語源は10日(一旬)で竹になるほど、生長が早いことからとも言われています。3～4月にかけて出ているのは太く大きく味がよい孟宗竹。5～6月にかけてやや細めの淡竹などが出てきます。「朝掘ってその日に食べよ」と言われるほど、鮮度が生命。ゆで筍の白いつぶつぶは「チロシン」というアミノ酸だからご安心を！

タケノコを素材にしたもので中華料理に欠かせない食べ物は何でしょう。

A. キクラゲ B. ナルト C. メンマ (答えは4面に)

花ひらく里山まつり

つきだて花工房が 日々の生活に潤いを提案します

4月

うらかな春の光がうれしい季節です。光いっぱいのお部屋から阿武隈の山並みを眺め、ゆったりコーヒーブレイクを！
 コーヒーと一緒に懐かしのおいしさ、みそっ子パン(130円) じゅうねんクッキー(230円) も一緒にどうぞ。



6月

春のお花の見ごろを過ぎて、しめやかに咲くあじさいの季節に移ります。おもてなしの集大成を会席料理で！涼月会席「水無月膳」で日本料理の奥深さをご満喫ください。
 1日30名様限定
 料金 5,000円(税込、飲み別別)
 18:00~

5月

新緑から深緑へ、木々の輝きに元気をいただく季節です。さわやかな風を感じながら遊歩道をお散歩したら、ハーブのお風呂で心も体もリフレッシュ！心が落ち着くラベンダー、美容に効果的なローズマリー、元気になるミント、3つのハーブがブレンドされたハーブのお風呂をお楽しみ下さい。

7月

里山に盛夏を知らせるのは、町花でもあるやまゆりの花です。隣接するすば一く月館で恒例のリリーフェスタが開催されます。



里山まつり 耳より情報

日程	イベント
4月29日~5月6日	オリジナルいちごシャーベット販売
5月28日~31日	菖蒲湯
5月31日、6月1日	朗読セミナー
6月17日・18日・19日	涼月会席
6月27日~7月20日	ラベンダークラフト
7月18日、19日	リリーフェスタ

よーこばっばの おいしい里山

里山歩いて、おいしい健康づくり
 *食べられる野草や木の実などを採集し料理。大地のパワーをいただきます！
 ■日時：4月18日(土)・6月28日(日) 10時~13時30分
 ■講師：本田洋子先生(よーこばっば)
 ■参加費：1,000円 定員：10名程度

自然は知恵の詰まった薬箱 野の薬探査 ワークシヨップ

*花工房の里山を散策しながら野草を観察し、野草採取を行い、薬効や利用方法を学びます。
 ■日時：4月24日(金) 10時~12時
 ■講師：貝津好孝先生
 ■参加費：500円
 ■定員：30名程度

声に出して本を読もう プロのナレーターによる 朗読セミナー

*発声、話し方、アクセント、伝える方法、表現方法の指導。秋の朗読会に向けて、課題作の研究
 ■日時：5月31日(日) 13時~17時 6月1日(月) 9時~17時
 ■講師：島岡安芸和(ナレーター)
 ■参加費：4,000円(受講料、教材費、2日目の昼食含む) 定員：20名程度

お客様の声

●平成3年から毎月5座のペースで山頂に立ち、特に積雪期には女神山や御幸山、日山など多くの阿武隈の山々に登り、福島県人となる私にとって、かいた汗を流し、疲れを癒すため幾度となく立ち寄っているつきだて花工房は、いつもあたたかく迎えてくださり、大いに満足し感謝をいたしております。
 (鈴木和夫様・仙台市)



月館町 半沢やよみ様

●交流館もりもりで旬の野菜の通信販売等がありますのでしようか？
 (田端光子様・東京都)

●花 やさい工房では旬の野菜をはじめ、山菜やきのこ、果物などの季節の恵みや、手作り食品を宅配しております。お気軽にご相談下さい。

36号プレゼント

「よまのかがり」の味「当選者」
 荒よし子様(埼玉県) 宍戸孝生様(梁川町) 松浦妙子様(梁川町) 3面のクイズの答え C. メンマ
 メンマはシナチク(支那竹)とも呼ばれ、中国南部や台湾の麻竹(まぢく)を原料にしています。

木もれび36号プレゼント

エコライフのすすめ！
 タンスに眠っていた布を使って作りました。
 交流館もりもり製 女性向きサイズ 「布ぞうり」を5名様にプレゼント
 官製はがきに住所、氏名、年齢と木もれ日通信36号で印象に残った記事及び感想等をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送りください。平成21年6月30日の消印まで有効です。

(ご記入いただいた個人情報につきだて花工房が責任をもって管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させていただきます。)

時

編集後記

新しく完成したデッキに腰掛け、春の風を感じながら阿武隈の山並みを眺めます。さまざまな生命がそこに宿り、同じ時を過ごしていることを想像すると、とっても不思議な気持ち。たとえば悩みの種のイノシシ親子が春のお散歩をしている姿とか、野の花がつぼみを開く一瞬とか...
 平等に流れる時の中で、つきだて花工房の風景もここ数年でだいぶ変わってきました。5年前に植栽された200本の桜の苗も、今ではふるさとにちいさな春を運んでくれます。その中の1本は第19代さくら女王、浅野玲子さんが、みぞれ降る中植栽くださったもの。一瞬では完成しない風景づくりに、ひとつひとつに想いをこめて、つきだて花工房の物語を作って行けたらと感じているこの頃です。(佳代)

月の明かりで疲れた心を癒したい。
 いますぐカレンダーにチェック!!

【満月の夜】

4月9日(木) 5月9日(土)
 6月8日(月)

【新月の夜】

4月25日(土) 5月24日(日)
 6月23日(火)

木もれ日通信36号 読者プレゼント 応募券